

第3回青の国 若山牧水短歌大会 審査結果

青の国短歌大賞

宮崎県宮崎市 松元 雅子

雁かりがねの名を持つレ点 羽ばたきのできぬ片羽を小さくひらく

■一般の部 自由題■

【最優秀賞】

大分県大分市 竹内 乃里子

金箔を落としし仏のしづかさを恋ひて紅葉^{もみぢ}の石段登る

【優秀賞】

宮崎県日南市 阪元 かつこ

一羽二羽鳥のごとくに数えられ飛べない兎は私の仲間

宮崎県宮崎市 飯田 孝子

夜おそくファックス届き驚けばふふおからのレシピ母から

【優良賞】

宮崎県日向市 二見 順雄

吾が母は草書の顔の百四歳祖先あまたの最長壽かも

宮崎県日南市 稲田 八重子

夢の中姿は見せぬ亡き夫の「お母さん」と呼ぶ声に目醒むる

宮崎県門川町 永田 ツヤノ

初物の刺まだ柔き櫛木の芽の揚げたてほっこりむっちり美味し

【佳作】

宮崎県日向市 黒木 直行

四〇年前の旅券を見つけたり弟死して五年目の春

愛媛県松山市 宇都宮 千瑞子

夫より先に鍬ふり土を掘る山からの風クスツと笑う

宮崎県宮崎市 佐藤 三義

今は亡き二ツ違いの兄想う共に柔道五段の頃を

大阪府大阪市 蒼井 杏

金平糖小瓶に入れてふつてみる僕の宇宙の小さなビックバン

宮崎県日向市 岸 敦子

日溜りにおさなは吾が手撫でながら「おばあちゃんの手は古いね」と言う

宮崎県川南町 宮澤 恭徳

遺影には「オイ」とは言へず生前に望みておりし名前にて呼ぶ

宮崎県串間市 坂本 不二子

やはらかき若葉を纏ふとねりこの蔭のベンチに居眠る媼

山口県岩国市 森田 アヤ子

留守ながくつづく媼の家開きて仏壇仏具が運ばれゆけり

宮崎県日向市 加地 優子

動作にぶき吾^あの店番を案づるか子は幾度も声かけてゆく

宮崎県綾町 鈴木 みち子

「山ガール」で在りたる時も「山婆」となりたる今も霧島は美し

宮崎県都城市 道添 美枝

亡き父の好物なりしは酒万十供えて暫し遺影と語る

愛知県稲沢市 伊藤 英一

夏空の下に雄雄しき焼岳よ牧水の影まぼろしにたつ

愛知県名古屋市 清水 良郎

目をとちてひらけば明日がやってくる十回だけの十代の夏

宮崎県延岡市 吉田 千鶴子

島からは一度も出^いでず老ゆきて朝な夕なに子の身を祈る

宮崎県宮崎市 上野 直

耳川の葦原に来しよしきりのその見に合わぬ声挙げ啼きぬ

大分県大分市 大塚晶香

細き人弱しと限らぬジャコメッティ凜たる意志の歩みゆく人

宮崎県宮崎市 大西 淑子

剥落のしるき土壁がさへぎれる内の静けさ桃の実熟るる

宮崎県宮崎市 寺原 正喜

濡れ草鞋ぬぐ旅人らに耳立てて少年の目に生るるあくがれ

宮崎県宮崎市 川添 ゆかり

そばすする母の横顔悲しかりいつか我が顔忘れる日の来る

福井県小浜市 古谷 義次

山峽を白き傘さし行く吾を不審者とばかり野猿追ひ来る

■一般の部 題詠「向」■

【最優秀賞】

福岡県福岡市 猿田 史子

君の待つ国へと向かふわれは今時計の針をゆつくりもどす

【優秀賞】

宮崎県日向市 福田 鉄文

上棟の仕事に出かくる道すがら丘にて日の出に真向かいにけり

宮崎県日向市 黒木 伊知緒

翔ぶときは決して後ろをふり向かぬ海原ひくくとぶ水鳥も

【優良賞】

宮崎県日向市 上村 由美子

向き合ひて君が沢庵食む音を聴く幸せよ君は知らねど

宮崎県日向市 黒木 秀美

日向の星海の向こうで輝きぬ連日ヒットの青木選手は

宮崎県日南市 金丸 悦子

揺れ動く子の青春と対座した卓袱台に今夫と向き合う

【佳作】

宮崎県日向市 黒木 直行

向き不向き自分で決めるきみに言う半年ほどで職辞めるなよ

宮崎県宮崎市 大久保 富夫

北に向け戻る日近き鳥寄りて日向ぼこする春の名残に

鳥取県倉吉市 石飛 誠一

泳ぎから帰りてくれば盥には日向水あり祖母の居た夏

ひなた

宮崎県宮崎市 高松 美恵

牧水の向ひし空は晴れてゐてわれも思はず北を見上げぬ

千葉県流山市 吉岡 昭

咲きそうな梅の小枝に一礼し留守を委ねて仕事場に向く

岩手県奥州市 菊池 尚子

友につきし嘘氣にしつつ過ごしをり今宵真向ふ鏡がまぶし

大阪府大阪市 蒼井 杏

半袖の君が抱えた日向夏ひとつこぼれて初恋あふれる

宮崎県宮崎市 高山 俊美

台車押し畑に向う楽しみは大地に芽ぶく小さいのち

愛媛県松山市 園部 淳

逆光で見えぬ朝日の下にある君の町向けアクセルふかす

宮崎県西都市 山本 日出雄

川向うにも茶摘む人らの声聞こゆ麦藁帽子を振れば手を上ぐ

三重県鈴鹿市 村上 英明

冷や水と言われてもよし前向いて心に火種抱いて生きたし

宮崎県国富町 藤川 長久

教室がシーンと静まり子供等が我に向ひて読み聞かせ聞く

宮崎県門川町 重岡 夏子

出向で都会から来て二年すぎ地鶏よく食べ笑顔も増える

宮崎県宮崎市 柿原 佳子

快方に向かいし夫はほほえみて私を見送る点滴ひいて

兵庫県川西市 木内 美由紀

レモンでもみかんでもないああそうだ「日向夏」だよ、君の笑顔は

福岡県北九州市 田代 信也

差し向ひ年増芸者のつま弾きに都々逸うなりし父よ われ五歳

宮崎県宮崎市 小川 とく子

アフリカの子等に送らん向日葵の種を二反の畑に蒔きぬ

宮崎県門川町 水永 玲子

夫婦して初めて向かう東北の巡る地調べ地図に丸付く

宮崎県宮崎市 日高 由里子

眠りたる子の向こう側 日を追いて父親らしくなる君が見ゆ

宮崎県日向市 黒木 貴美恵

亡き母が髪をすかした櫛を持ち白髪之父は鏡に向う

■小学生の部■

【最優秀賞】

日向市立坪谷小学校4年 那須 康太郎

登校中口笛ふけばウグイスの返事が来るよひみつの会話

【優秀賞】

宮崎市立小松台小学校6年 田邊 慈子

ドーナツ真ん中の輪を目でのぞく不思議なことが何かないかな

日向市立大王谷学園初等部5年 石田 健登

山の中でしんじてなかった山びこを体験したんだ本当だった

【優良賞】

延岡市立東小学校 6年 新名 隼太

初めての公式戦でホームラン母の日に打てたうれしい一打

延岡市立伊形小学校 5年 橋本 晴

ボールたちいっぱいの人につきあつてときにはけられときにはうたれ

延岡市立伊形小学校 5年 宇都宮 綾花

しおひがりすなのうえにはひとだらけゆめにおわったあさりのみそしる

【佳作】

宮崎市立倉岡小学校 6年 内之倉 薫人

白藤があたたかい陽にさきみだれ新入生をかんげいしてる

延岡市立三槿小学校 6年 甲斐 朱夏

春風にそよそよゆれる木の葉たちいろんな曲をかなでているよ

延岡市立三槿小学校 3年 高見 杜和

さんかん日ドキドキするなあ家ぞく来てドキドキするけどわくわくもする

延岡市立南小学校 5年 橋倉 明里

始まりの笛がコートになりひびくチームの力が一つになる時

延岡市立北川小学校 5年 澤 芳乃

家の前祖父が作った風車笑い声たてぐるぐるまわる

宮崎市立佐土原小学校3年 木浦 龍翔

ぼくの家うるさいねこがいるんだよいびきねことがおじさんみたい

日南市立飫肥小学校3年 酒井 桜

しんりよくがぴかぴかぴかり光ってるお日さまにはね負けないように

門川町立五十鈴小学校4年 米良 まどか

わたしのね一番下の弟は何でも食べちゃうそうじきみたい

日向市立富高小学校6年 木村 仁美

道ばたで風に吹かれて桜舞う新しい春見つけた幸せ

宮崎市立広瀬西小学校6年 木村 茉由

赤団の立て看づくり大変だ当日になり小さく見えた

宮崎市立住吉小学校 6年 太田 成美

春になりあまいかおりがただよって生き物たちがお祭りさわぎ

宮崎市立住吉小学校 4年 中野 笑里

まわり見て笑顔ない子声かけてさみしい子をね友達にする

宮崎市立加納小学校 6年 安藤 大輝

まきえしてさあこいまめアジ食らいつけつり糸キラリ海にとけてく

日向私立大王谷学園初等部 5年 甲斐 健人

すなはまにうちあげられたクラゲいる水がなくてもまだ生きている

門川町立西門川小学校 1年 坂本 萌々菜

だんごむしあそんでいたらみつけたよかわいいむしねいちねんせいかな

日向市立寺迫小学校 6年 黒木 らん

一年生色とりどりのランドセルの中にはねドキドキいっぱい

延岡市立伊形小学校 3年 石塚 寿音

ゆらゆらと元気よく泳ぐこいのぼり一番元気はわたしの弟

延岡市立伊形小学校 3年 甲斐 佳歩

一りん車ぐるぐる。ペダルうまくこぐバランスとってピエロみたいだ

延岡市立伊形小学校 4年 川野 遼雅

緑の葉しずくがたれてピカッとねかえるの親子ゲコツとなくよ

延岡市立伊形小学校 6年 池田 陽香

お父さん何やら後ろで一人言わたしのことをつぶやいている

■中学生の部■

【最優秀賞】

西都市立穂北中学校1年 串間 優希

えん筆のあとを消したりなぞったり言葉の重みと深さに迷う

【優秀賞】

延岡学園尚学館中学校1年 濱田 陸玖

陸上部はいつてみたらわかったよ走るのだけが全てじゃない

県立宮崎西高等学校附属中学校3年 山崎 結香

娘らの駄賃・小遣いけるけど募金けちらぬ母の優しさ

【優良賞】 該当者2名

宮崎西高等学校附属中学校1年 日高 光貴

友達の言葉は直球ストライク僕は変化球外れてボール

延岡市立岡富中学校2年 轟 凌平

入ったら付き合つてと告白し打ったシュートがネットをゆらす

【佳作】

日向市立東郷学園中学部7年 富山 海都

夜十時ランニングするその道をイノシシ一家横断中です

鵬翔中学校2年 川上 真愛

先輩と呼ばれる度にふと思うこの子の方が先輩みたい

県立五ヶ瀬中等教育学校3年 飯干 蒼馬

舌を出すハンサムなヤモリ顔を出しこの家守れ思い出護れ

延岡市立東海中学校2年 河野 遥菜

ブランコでゆらゆらゆれて風の中むなしい恋にブランコ止まる

延岡市立東海中学校2年 富山 柚奈

願っても君に会うことできなくて忘れないよう強くつむる目

延岡市立東海中学校3年 丸野 愛美

教室であなたの視界に入るためにうるさくしている気付いてほしい

延岡市立東海中学校3年 出水 瑛斗

日照り日もグラウンド走る楢円球今年の夏も泥んこタツクル

日向市立美々津中学校1年 橋口 京佳

青空が赤くなるまで部活して汗かきながら自転車走る

日向市立美々津中学校3年 是則 大貴

帰り道二人で歩くさくら坂虫の音すべて聞こえなくなる

門川町立門川中学校2年 兒玉 一樹

辛くても笑うあなたを見ていると落ち込む僕はちっぽけに思える

綾町立綾中学校 1年 森園 篤志

ぼくたちの町がこんなにすごいのはかげで自然が助けるからだ

都城市立妻ヶ丘中学校 2年 清山 諒太

ごめんねと使い終わったグラウンドにお礼の整備で恩返しする

美郷町立美郷南学園 9年 黒木 美鈴

木いちごがまだ青々としているよまだまだ未熟な私のように

宮崎日本大学中学校 2年 安樂 美佑

空と海交わる線の向こう側距離縮めてもたどり着けない

宮崎日本大学中学校 2年 山澤 美月

分らない何がなんだか分からないそう考える今が青春

宮崎日本大学中学校2年 市来 渉

大津波僕らは絶対忘れないテレビに映るあの光景を

延岡市立南中学校3年 三輪 健士朗

春の午後雲一つすらなかりけり群れ飛ぶ鳥の空中ダンス

延岡市立南中学校3年 佐藤 楓

ラケットの汚れてしまったグリップはがんばってきた努力の証

延岡市立南中学校3年 中田 博継

サッカーの決勝で負け準優勝なぜか気持ちはまだ叫んでる

延岡市立南中学校3年 後藤 渉太

頭の中真っ白になるその瞬間指揮者が棒を今振り下ろす

■ 高校生の部 ■

【最優秀賞】

県立延岡星雲高等学校 1年 工藤 葵

左手はいつもあけてる帰り道あなたの右手むかえるために

【優秀賞】

県立富島高等学校 3年 木浦 栄汰

トライまで走ってつなぐ楯円球自分を盾に仲間を生かす

県立高千穂高等学校 2年 内倉 俊貴

落とし物シャーペン届けに來た君は僕の心を持っていきました

【優良賞】

県立小林高等学校 1年 濱島 巧成

カタンコトン汽車に乗り行く日々だけど毎日ちがう周りの景観

県立延岡星雲高等学校 3年 吉田 小夏

お昼過ぎ君に続いてふわふわとうつるあくびがなんかうれしい

県立高城高等学校 2年 平川 健太郎

あと一秒あきらめないでかけぬけたその一瞬は一生のもの

【佳作】

県立小林高等学校3年 伊達 郁美

七人がそろうとそこは動物園個性派ぞろいのいつものメンバー

県立富島高等学校1年 水脇 優人

新しい消しゴム買って初登校なくなるころにはなじめてるかな

県立延岡高等学校1年 山崎 聡馬

受験より倍率高い急ぐんだ目指す先にはマヨネーズパン

県立延岡高等学校2年 片伯部 遥夏

泣いてないゴミが入っただけと言う耳まで赤いキミは嘘つき

県立延岡高等学校3年 川崎 拓人

「奇遇だな俺も今から帰るんだ」2つの影が伸びる夕暮れ

県立大宮高等学校 1年 後藤 伽波

高校生大きな子供ではなくて小さな大人へ進化している

県立大宮高等学校 1年 西村 篤史

アラムがいつもと同じ音なのにいつもと違う朝を知らせる

県立大宮高等学校 1年 濱田 直輝

いつもより少し早めに家を出る新たな出会いに期待しながら

県立大宮高等学校 1年 柴田 涼生

夕焼けは強く綺麗な赤なものにはかなく夜にのまれてしまう

県立延岡星雲高等学校 1年 川路 純之介

いつもより広く感じる僕の部屋聞こえた気がした「大好き」だって

県立延岡星雲高等学校2年 小井手 亜衣

きつと今私が見上げるこの空をあなたも見てるそれだけでいい

県立延岡星雲高等学校2年 穴見 咲恵

あなたとの時間はいつも早送りだから探すのスローボタンを

県立日向工業高等学校1年 黒木 一樹

人間の食事になった生き物は悔いなき生を生きただろうか

県立五ヶ瀬中等教育学校6年 大路 亜弥美

年を経て君を見る目が変わったよあのときの目でものをみたいな

県立高千穂高等学校2年 甲斐 優奈

言葉とは何のためにあるのかな人を傷つけ自分も傷つく

県立高千穂高等学校 1年 戸高 このみ

茜色見上げて歩く帰り道雲がひとすじ明日を描く

延岡学園尚学館高等部 2年 八田 ゆきの

古語覚え普段使ってしたりがお負けじと友は助詞を唱える

県立延岡商業高等学校 1年 河崎 亮

上を見て白一つない青空は生まれたときの僕と同じだ

県立宮崎西高等学校 3年 奥野 康介

棚一面古今東西の本の壁「僕を読んで」とラブコールされる

県立宮崎西高等学校 3年 矢野 里枝

とろとろと君のひとみに煮詰められ木苺ジャムになるわが心

